



2025年5月14日

各 位

会社名 丸藤シートパイル株式会社
代表者名 代表取締役社長 羽生成夫
(コード番号 8046 東証スタンダード)
問合せ先 取締役執行役員 経理部担当 宮下典久
(TEL: 03-3639-7649)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について (アップデート)

当社は、本日開催の取締役会において、2024年5月14日に公表しました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」につきまして、現状の分析・評価を行い、内容をアップデートしましたのでお知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご覧ください。

以 上

添付資料：「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

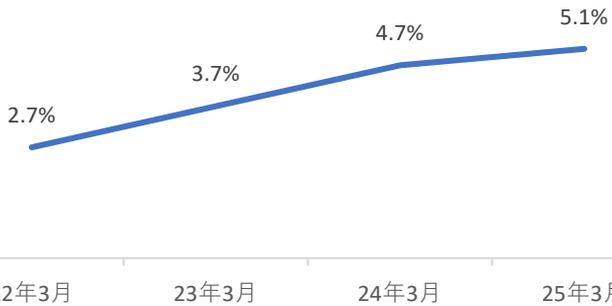
MARUFUJI

2025年5月14日

丸藤シートパイル株式会社

ROEの推移、分析、評価、対応

ROE	当期純利益 株主資本	=	当期純利益 益率	当期純利益 売上高	×	総資産回 転率	売上高 総資産	×	財務レバ レッジ	総資産 株主資本
-----	---------------	---	-------------	--------------	---	------------	------------	---	-------------	-------------



○ROEは、改善しつつも株主資本コストを下回った状態で推移
 ○取組み・対応（下図・コメント参照）
 <稼ぐ力の強化> <資産効率の改善> <戦略的な成長投資>
 →収益性の向上に向けた改善
 →資本構成の最適化に向けた改善
 ●上記課題を着実に取り組むことで、中長期的に株主資本コストを上回る改善を目指す

当期純利益率の推移、分析、評価、対応

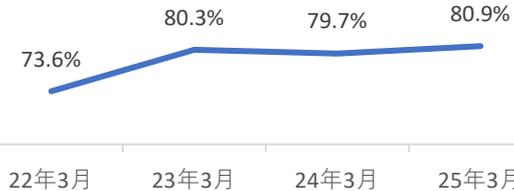
当期純利益
売上高



○取組み・対応 <稼ぐ力の強化>
 →利益率の高い受注物件に対し集中的に営業力を強化
 →各地域、各現場の需要を見定めた工法・工種の提案による受注工事拡大
 →建築分野・土木分野の特殊な受注加工物件の受注拡大
 →仮設橋梁物件の受注力拡大

総資産回転率の推移、分析、評価、対応

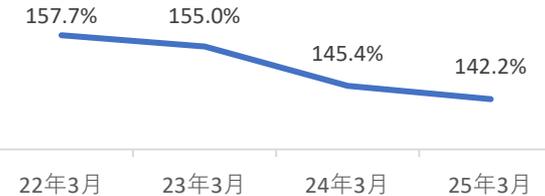
売上高
総資産



○取組み・対応 <資産効率の改善>
 →将来の企業価値向上に向けた設備投資を実施
 ※整備能力・生産性向上を図るための工場設備への投資・入替を実施
 ・自動整備ライン化建設中
 ・自動洗浄機導入
 ※工事用機械の新規導入

財務レバレッジの推移、分析、評価、対応

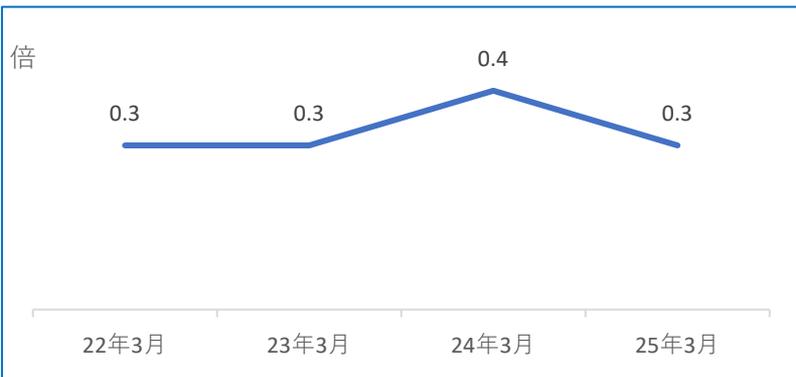
総資産
自己資本



○取組み課題・対応 <戦略的な成長投資>
 →財務レバレッジを活用した成長投資を促進しながらバランスシートの積極活用を図っていく。
 ※当年度は自己資金にて設備投資実施
 ※今後、工場設備・工事用機械・ITシステム関連への投資、人的資本への投資を計画

PBRの推移、分析、評価、対応

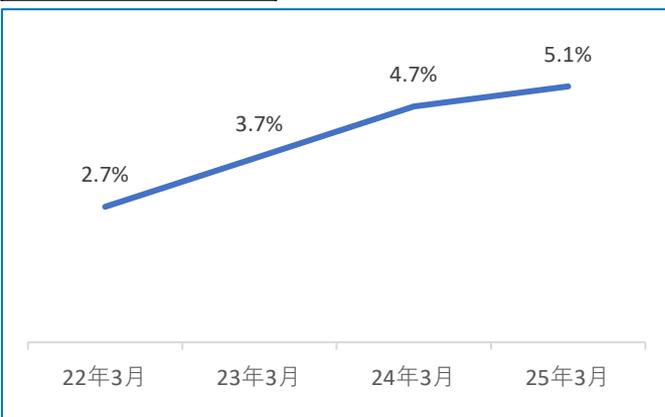
PBR	株式時価総額	=	ROE	当期純利益	×	PER	株式時価総額
	株主資本			株主資本			当期純利益
PBR	株価						
	1株当たり純資産額						



- PBRは、過年度より1倍を下回った状態で推移。
- 取組み・対応
 - <ROEの改善> (前ページ参照)
 - ➔収益性の向上に向けた改善
 - ➔資本構成の最適化に向けた改善
 - <PERの改善> (下図・コメント参照)
 - ➔IR活動の改善
- 上記課題を着実に取り組むことで、PBRの改善を図る

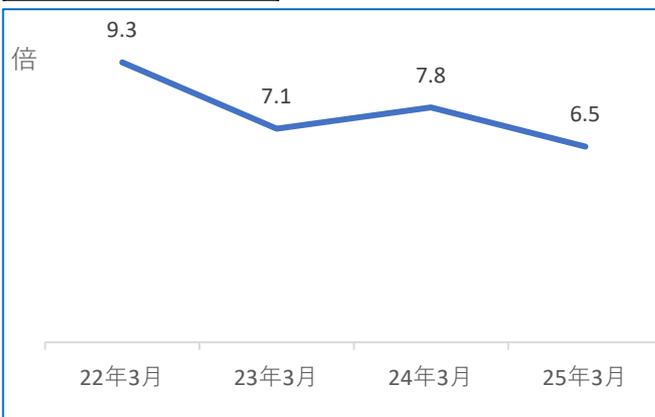
ROEの推移

当期純利益
株主資本



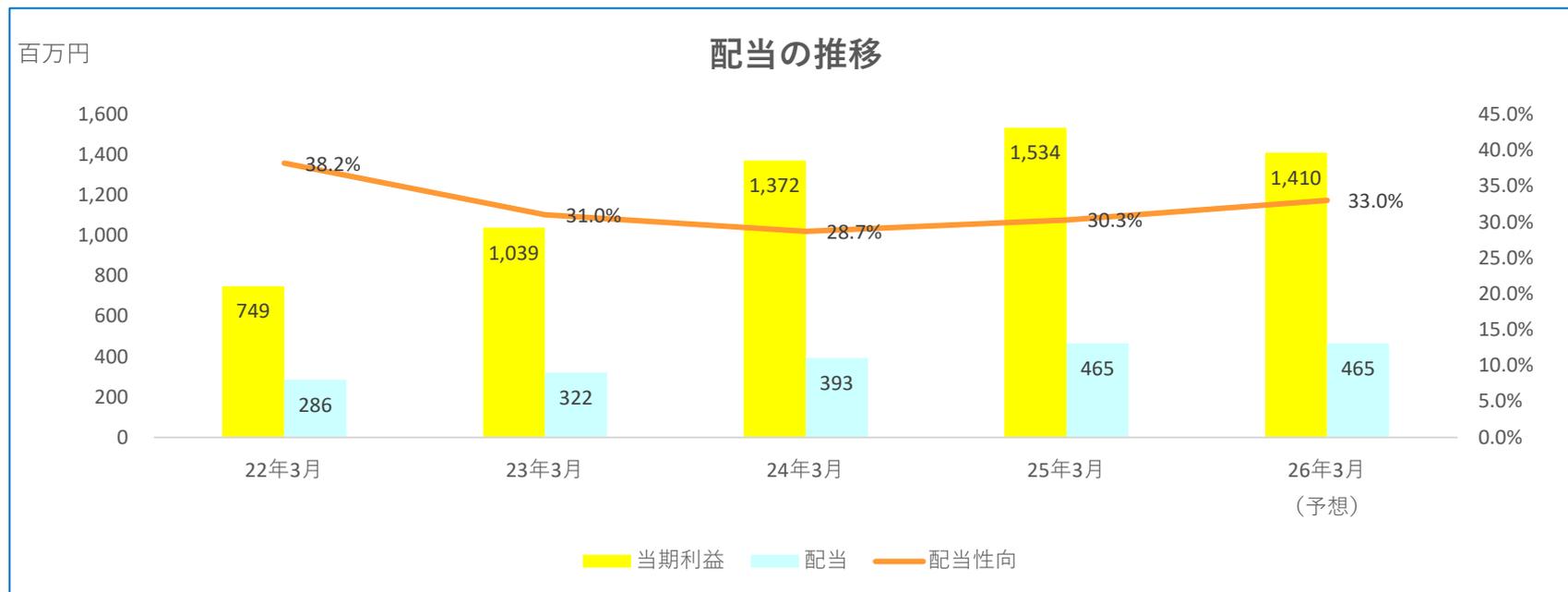
PERの推移

株式時価総額
当期純利益



PERの分析・評価

- 中長期的な事業戦略・成長戦略
および資本政策についての投資家
への認知度が低い
- 取組み課題・対応
 - ➔機関投資家との対話対応
 - ➔IR活動の改善
 - ※継続的に広報活動を展開
 - ※決算補足説明資料や非財務情報等
の当社ホームページの紹介内容の
充実化



	22年3月	23年3月	24年3月	25年3月	26年3月 (予想)
配当金 (円/株)	80	90	110	130	130

(注) 25年3月の配当につきましては、2025年6月26日開催予定の第77回定時株主総会に付議する予定です。

株主還元につきましては、かねてより株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付けており、業績に裏付けられた安定的且つ適正な利益配分を継続することを基本方針としております。今後も更なる成長に向けた様々な積極的投資、資本効率や財務状況を総合的に勘案しながら、配当性向30%程度を視野に入れた利益配分を継続してまいります。

本資料には、当社グループの事業戦略及び数値目標等の将来の予想及び見通しの記述が含まれております。こうした記述は、当社が本資料作成時点において把握可能な情報並びに本資料作成時点における仮定に基づく見込みで、経済動向等に関する不確実性が含まれております。このためかかる記述は将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。当社の財政状態及び経営成績や投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、決算短信、有価証券報告書等の開示資料等、当社が公表した各種資料をご参照ください。

丸藤シートパイル株式会社